



トピックス 「太極拳まると勉強会」新規講座

『いのち・こころ・からだ』のご案内

下記の通り、新規講座を開設いたしますので、ご興味のある方は小生宛てお申込みください。メールあるいは電話、ファクスでお受けします。担当教室の方は別途配布する申込書用紙をご利用ください。今回のテーマは『いのち・こころ・からだ』です。過去の講座でも、個別的、断片的には触れてきてはいますが、あらためて、ヒトと言う生命体の玄妙な仕組みについて、一緒に勉強してみたいというのが、今回の目的です。

たとえば、「いのち」については“生物と非生物の違い”、“細胞の不思議”、“生物の進化”“生死の境”“死んだらどうなる？”などを、「こころ」については、“心はどこにあるのか？”“大脳か、心臓か、腹か”“煩惱を見直す”“腸管神経系とその進化”“脳がなくとも巧みに楽しく生きている動物たち”“宗教心となにか？”などを取り上げる予定です。「からだ」については知っているようで知らない体の仕組みについて、内臓、骨格、神経系、運動機能などについて取り上げる予定です。

テーマ；『いのち・こころ・からだ』

時期；平成31年（2019年）4月から9月まで、月1回、合計6回

時間；毎月第2水曜日 午後6時15分から7時45分まで（1時間30分）

場所；船堀タワーホール 301会議室（4～6月は予約済み、以降は予定）

定員；35名

会費；3000円（全6回）

閑人閑話 「平成」を振り返る

1989年に始まり、2019年の4月で終わる「平成」の30年ですが、どんなことが起きていたのか、世界の出来事、日本の出来事と分けて表に書き出してみました。激動の30年であり、また、戦争や内乱、そして自然災害の続いた30年でもあったという印象を強く持ちました。さてこれからの新しい時代はどのようになるのでしょうか？

平成時代の主な出来事				
平成	西暦	世界	日本	私的出来事（太極拳関連など）
元年	1989	6月・天安門事件	3月・消費税導入	6月・子会社へ転籍（55歳）
		11月・ベルリンの壁崩壊	4月・松下幸之助死去	
		12月・マルタ会談で冷戦終結	6月・美空ひばり死去	
2	1990	10月・東西ドイツ統一		
3	1991	1月・湾岸戦争	3月・バブル経済崩壊	太極拳入門（清新鶴の会）
		12月・ソ連崩壊	6月・雲仙普賢岳大火砕流	
4	1992			
5	1993	E U発足		

6	1994			10月・伊勢神宮全国大会
7	1995	WHO誕生	1月・阪神淡路大震災	
			3月・地下鉄サリン事件	
8	1996			
9	1997	アジア通貨危機発生	11月・山一証券廃業	97~99 ホーチミン在住
10	1998	印パ核実験	2月・長野五輪	
11	1999			6月・日本健康太極拳協会発足
12	2000		6月・三宅島噴火	6月・仕事卒業(66歳)
13	2001	9月・米国同時多発テロ		亀戸SC, 瑞江鶴の会指導
				代々木鶴の会創設
14	2002	ユーロ通貨流通始まる	9月・日朝平壤宣言	中野教室へ入門
15	2003	イラク戦争勃発		東京健康ランド・講師
16	2004	12月・スマトラ島沖地震		師範・「雲の手通信」創刊
17	2005		4月・福知山線脱線事故	7月・楊名時師家ご逝去
				東大島鶴の会創設
18	2006	北朝鮮核実験		
19	2007		10月・郵政民営化	
20	2008	5月・四川大地震		
		9月・リーマンショック		
21	2009	1月・オバマ大統領就任	9月・鳩山民主党政権成立	5月・下町会へ参加
				7月・協会10周年記念全国大会
22	2010	アラブの春運動起こる		早朝太極拳の会創設
23	2011	シリア内戦勃発	3月・東日本大震災	
24	2012		5月・スカイツリー開業	太極拳勉強会(講座)創設
25	2013			
26	2014	ウクライナ内戦勃発		
27	2015		12月・慰安婦問題日韓合意	11月・師家を偲ぶ全国大会
28	2016	イギリスEU離脱派勝利	4月・熊本地震	
29	2017	トランプ大統領就任		2月・「雲の手通信」150号発行
30	2018	米朝首脳会談	7月・西日本豪雨	10月・中野教室40周年祝賀会
31	2019			

注；取り上げた項目については、ブログなどを参考にしただけで、私の判断で選んだものです。

左顧右盼 第22話 『太極拳とは何か(再編集・再掲版)』(第9回)

～趙匡胤の「探馬勢」から太極拳の「高探馬」にいたる軌跡をたどる～

20 各派が競い合う1920～30年代

この両派のほか、陳式から分化した趙保拳、武式太極拳、武式を継いだ孫式太極拳、楊班侯の拳の流れをくむ呉式太極拳、など各派が並立するような状況が続くうちに、日中戦争(1937～)と日本

の敗戦(1945)、そして、国民党と共産党とのし烈な内戦、それに勝つての毛沢東による中華人民共和国の建国 (1949)へと、大きく時代は変容してゆきました。

これまでの経緯を主要年表として、以下に添付しましたので、ご参照ください。

太極拳関連主要事項年譜(1956年まで)

西暦	中国(日本)史の主要事項	太極拳関連事項
1644	明王朝滅亡・清王朝興る	陳王廷故郷に帰る
1840	第1次アヘン戦争	
1850	太平天国の乱始まる (洪秀全)	
1852		武禹襄・太極拳譜を発見
		武禹襄と楊露禪北京へ出る
		楊露禪「太極拳」を名乗る
1853	太平天国軍北京に迫る	陳仲牲太平天国軍を撃退
〃	(ペリー来航・嘉永6年)	
1856	第2次アヘン戦争	
1864	太平天国滅亡	
1868	(明治維新・明治元年)	
1894	日清戦争 (明治27年～28年)	
1900	義和団の乱	
1911	辛亥革命・清王朝滅亡	
1919		陳鑫「陳氏太極拳図説」完成
1921	中国共産党創設	
1928	蒋介石北京入城、国民党が全国統一	陳発科北京で普及開始
1932	満州国建国 (昭和7年)	
1934		楊澄甫「太極拳体用全書」出版
1937	日中戦争始まる (昭和12年)	
1945	日本敗戦 (昭和20年)	
1946	国共内戦始まる	
1949	国民党敗北、台湾へ退去	武術家ら多数離国 (台湾、香港などへ)
〃	中華人民共和国建国 (昭和24年)	
1956		簡化二十四式太極拳公布

一品・一葉・一会

第9回 75年7月 イスラエルでもらった記念メダル

1975年の7月のことですが、急遽極秘裡にイスラエルへの出張を命じられ、業界のミッションで滞在していたスペインのバスク地方の都市ビトリアから、単身、マドリッド～バルセロナ～ローマ

と飛行機を乗り継いで、イスラエルの国営航空エルアル航空でローマ空港からテルアビブに飛びました。機がテルアビブに近づくと“皆さん、あれが祖国テルアビブの灯です”と言うアナウンスに呼応して、“シャローム”“シャローム”と喜びのあいさつが叫び交わされ、次いで、一斉に国歌「ハティクヴァ（希望）」の大合唱が始まり、着陸するまで終わることはありませんでした。それぞれ異教の地での苦難から逃れて、建国された祖国へ今戻ってきたユダヤ人たちで満席の機内です。異教徒の私は呆然として身をすくめているばかりでした。

第1次オイルショックを招いた第4次中東戦争が終わってまだ2年足らず、イスラエルを巡る国際関係が大変緊迫していた時代でした。（実はイスラエルとの交易は大ぴらには出来なかった時代なのです。）

このメダルは現地で訪れたキブツ（大規模な農工複合型集団農場）の責任者の方から記念にもらったものです。表面（左）には聖都エルサレムの風景が、裏面（右）には古代ユダヤ王国に由来するクネセト「THE KNESSET（議会）」の建物とその文字とが刻印されているものです。ちなみにこの

建物は、ユダヤ系財閥で有名なロスチャイルド家などの資金で1958年に建造されたものです。

第1次世界大戦の戦費の調達に苦しむイギリス政府に同家が多大の資金援助を続け、その見返りにイスラエル建国をイギリスに認めさせた（いわゆるバルフォア宣言）いきさつがあります。イギリスの三枚舌外交が今日の

中東の混迷の大きな起因となっているわけです。

滞在中には、その方の所有するセスナ機に乗せていただき、イスラエル中を見て回り、南部のエイラット港や死海などにも連れて行ってもらいました。

別の日には聖都エルサレムにも行きましたが、嘆きの壁に降りてゆくすり減った石畳みの道と、壁の前で悲痛な祈りをささげるユダヤ教徒たちの姿に、彼らの信仰の深さを知り、強い衝撃を受けた旅でした。



旅をうたい拳を詠む

雑詠

二十億でも足りないという人を強欲^{ゴーンヨク}と世間は言うなり（いまや世界中が強欲経済ですね）

サハという梵語の音訳娑婆となる二人の女に悩むが娑婆ゆえ

（1月6日の朝日歌壇入選歌「娑婆という言に女が二人いて不思議な熟語誰か教えて」への返歌として同歌壇へ投稿した歌ですが、入選しませんでした。）

引退や休場相次ぎ初場所はあれよあれよと意外な結果に（白鵬までが休場するとは！）

流感が猛威を振るうさなかはや花粉情報ニュースに流れる

ひさびさに熱海の街に来てみれば若者あふれて戻る賑わい

タクシーの運転手に聞く湯の町の栄枯の波は平成の縮図

初島の左に上がる朝の陽を二日早めて初日と拝む